

デフ東京大会ボウリング出場

桜庭選手「目標は金」

母校・函館聾学校で壮行会

15日に開幕する聴覚障害者の国際スポーツ大会「東京デフリンピック」に初出場するデフボウリングの桜庭まどか選手(37)＝大樹生命保険函館支社＝の壮行会が11日、母校の函館聾学校(深堀町)で行われた。桜庭選手は同校の在校生や教員ら27人に対し「金メダルが目標。最後まで決して諦めず、母校に良い結果を持って帰りたい」と誓った。

桜庭選手は函館市出身。生まれつき聴覚障害があり、補聴器をつけ、手話を使う。ボウリングは2017年に姉に誘われて始めた。

壮行会で桜庭選手は

「みなさんの応援を力に、



壮行会で子どもとハイタッチする桜庭まどか選手(右)
＝11日(金田淳撮影)

世界で頑張ってください」とあいさつ。子どもたちは手話を組み合わせて応援メッセージを伝える「サインエール」で、「行け!」とエールを送った。桜庭選手が小学3、4年の時に担任だった新出

雅彦教諭(58)は「在校生ぜひメダルを持ち帰っても桜庭選手の活躍を見て、勇気をもらっている。」
「ほしい」と話していた。
(白石翠)